

平成 31 年 3 月 22 日

養父市議会議長 深 澤 巧 様

予算特別委員会
委員長 政 次 悟

予算特別委員会審査報告書

平成 31 年 2 月 27 日、本委員会に付託された事件は審査の結果、下記のとおり決定したので、養父市議会会議規則第 101 条の規定により報告します。

記

- 1 審査年月日
平成 31 年 3 月 4 日 (月)・5 日 (火)・6 日 (水)・7 日 (木)・8 日 (金)・
11 日 (月)
- 2 審査結果

議案番号	事 件 名	審査結果
議案第 1 号	平成 31 年度養父市一般会計予算	原案可決すべきもの
議案第 2 号	平成 31 年度養父市国民健康保険特別会計予算	原案可決すべきもの
議案第 3 号	平成 31 年度養父市養父歯科診療所特別会計予算	原案可決すべきもの
議案第 4 号	平成 31 年度養父市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決すべきもの
議案第 5 号	平成 31 年度養父市介護保険特別会計予算	原案可決すべきもの

議案番号	事 件 名	審査結果
議案第6号	平成31年度養父市水道事業会計予算	原案可決すべきもの
議案第7号	平成31年度養父市下水道事業会計予算	原案可決すべきもの

3 審査意見書

別紙のとおり「平成31年度予算に対する意見」を付する。

平成 31 年度予算に対する意見

第 92 回定例会
平成 31 年 3 月 22 日

予算特別委員会

1 総括的事項

本特別委員会は、3月4日から11日までの間、付託された平成31年度一般会計、4特別会計及び2企業会計の総額301億9,388万5千円の当初予算について慎重に審査を行った。

一般会計における予算総額は177億7,000万円で、平成30年度当初予算179億円と比較し1億3,000万円(0.7%)減少している。

歳入の内訳では、市税収入は総額23億3,295万5千円と対前年度比3,673万4千円(1.6%)が増加し、加え、元気な養父づくり応援寄附推進事業の積極的な取組の成果もあり、寄附金が4億円と対前年度比1億円(33.3%)の伸びとなっている。

さらに、新設された森林環境譲与税2,520万円、地方消費税交付金2,200万円、消費税率引上げに伴う低所得者対策などによる国・県補助金が増加している。

反面、合併算定替等に伴う地方交付税は総額87億円と対前年度比3億円の減額となっている。

歳入における財源構成比率では、自主財源である市税や寄附金、使用料及び手数料等が歳入全体の24.0%、依存財源である地方交付税や国・県支出金、市債が76.0%と、依然として依存財源比率が極めて高い状況が続いている。

一方、歳出面ではケーブルテレビ伝送路撤去事業の完了に伴い1億円、産地パワーアップ事業1億円、食肉センター改修工事の完了に伴う事業負担金9,566万3千円、南但広域行政事務組合負担金9,561万6千円、文化会館事業で1億9,120万円の減額など、大規模事業や負担金において歳出の縮小がある。反面、少子・高齢化対策に伴う扶助費、特別会計繰出金、補助費等は増加の傾向が続いている。

なお、特記すべきは本年10月から実施される消費税率引上げによる低所得者、子育て世帯の消費に与える影響への緩和や、地域における消費喚起などを目的として取り組むプレミアム付商品券事業に1億5,214万3千円を、定住人口対策である、やぶ暮らし住宅支援事業では、同居近居世帯応援加算制度を新設し総額2,840万円が計上されている。

さらに、新文化会館近隣の土地を4,250万円で取得し、6戸から7戸の宅地造成が計画されている。

また、ワールドマスタースゲームズ2021関西に向け、訪日外国人向け国際交流員の配置、地図アプリ開発事業等にも新規予算が計上されている。

その他、平成31年度予算の主な内容を見ると、年度末における全会計の地方債残高は、283億6,688万9千円、財政調整基金、減債基金、特定目的基金等の

総額は144億8万1千円が見込まれている。

養父市の財政を示す指標は、財政力指数が0.233、経常収支比率91.4%、3カ年の平均の実質公債費比率5.3%と見込まれている。

ここ数年間の決算や基金積立、実質公債費比率の推移を見ると、財政規律を重んじつつも、更なる市民サービス、地方創生に向けた財政投入は可能であると判断される。

よって、予算特別委員会として次に掲げる全体意見、個別意見を付し、審査報告とする。当局には、誠実かつ確実な対応を期待するものである。

2 全体意見

- (1) 地方創生の更なる加速・推進を図るため、市が有する各種基金の予算積立は通年度における積立限度額を設定するとともに、地域福祉基金や地域振興基金については、より積極的な活用、計画的な取崩しなども視野に置き市民サービスの充実につなげられたい。
- (2) 予算編成時に各部局に割り当てられる一般財源枠は、経常的な経費が多くを占めている。新規事業枠も確保されているが、部局の主体性を十分に発揮できるものになっていない。予算編成方法を見直して財源をつくり、全庁の総力を結集して地方創生を推し進められたい。
- (3) 市民の安心・安全を確保する観点からも、道路・施設・設備等の修繕事業においては可能な限り要求年度を先送りすることなく対処されたい。
- (4) 職員の定員管理計画はあるものの、多発する自然災害や多様化・複雑化する社会ニーズ、広範囲な地域特性、働き方改革等にも配慮しつつ、減員のみの主眼を置いた対応とならないよう適正な職員数確保に留意されたい。
- (5) 市の全ての施策の主人公は市民であることを重んじつつ、その推進に当たっては、更なる参画と協働、情報提供の徹底、説明責任を尽くすべく組織全体で取り組まれたい。

3 個別意見

【議案第1号 平成31年度養父市一般会計予算】

- (1) 地域公共会社については、平成32年度予算編成時までには活動実績等を客観的に分析・評価し、今後の事業展開や運営のあり方を明らかにするとともに、議会及び市民に納得、理解が得られるよう説明責任を果たされたい。
- (2) 子どもを取り巻く環境整備、交通安全、犯罪防止による安全なまちづくりを進めるため、防犯カメラ設置事業の継続、拡充に配慮されたい。
- (3) 移住・定住対策及び地域おこし協力隊事業については、市民から制度内容の周知や地域おこし協力隊員の人材確保等への協力を得られるよう情報発信を強化し、参画と協働による事業推進に努められたい。
- (4) 高齢者等優待乗車証交付事業における制度の周知方法、乗換え時の運賃負担について、運行事業者等との調整も行いながら制度の再検証に取り組まれたい。
- (5) 周産期医療における南但地域の要は八鹿病院が担うという位置づけの共有化を図るとともに、市と八鹿病院が一体となり、豊岡病院との連携強化を図られたい。
- (6) 農林業については、家族農業者支援施策の充実と森林環境譲与税も生かしつつ、林道、作業道の整備を図り、養父市の基幹産業として明確な位置づけができるよう施策の更なる強化に努められたい。
- (7) フルーツの里管理運営事業及び堆肥センター管理運営事業については、早急に修繕計画、運営計画を策定すべく生産者、市民、利用者の意見も聴取し、幅広く対応されるよう努められたい。
- (8) 小規模谷止め対策及び治山堰堤流末排水路整備事業は、防災、減災対策としての効果が期待できるものであることから、降水期前までの工事完了と、その後の効果検証により、更に充実した事業となるよう取組を進められたい。
- (9) インバウンド施策は、観光のみの視点ではなく外国人労働者の誘致、IT起業者の招致、移住・定住対策等の幅広い視点から各部、各課横断型の

連携施策としての位置づけ、対応が図られるよう努められたい。

- (10) 市単独事業における市の財政負担の軽減を図るためにも、過疎計画、辺地計画の更なる見直しと策定を進め、河川、道路等を含む生活インフラの整備などに有利な起債を効果的に活用されたい。
- (11) 災害時の緊急避難において、まずは各自で必要な物資を確保する自助の意識や、災害弱者に対する地域の共助を培う取組を推進し、更なる防災力の向上に努められたい。また、安心して避難所に避難できるよう、トイレ、空調設備等の施設整備を進められたい。
- (12) 小規模特認校等、特色ある学校づくりの推進に当たっては、全ての子どもたちが均等にその機会と効果が得られ、発揮されるよう十分に検証、検討されたい。
- (13) 被災時における災害復旧事業に対する地元負担金の軽減を図るため、補助率のかさ上げ等により可能な限り財政支援を検討されたい。

【議案第2号 平成31年度養父市国民健康保険特別会計予算】

- (1) 施設勘定における診療所運営については、一般会計からの繰入金が増加傾向にあることから、診療所の今後のあり方について市民や専門家等に意見を聞くなど、早期に検討されたい。